

公益社団法人日本ホッケー協会
平成30年度第4回理事会議事録

- I. 日 時：平成30年11月10日（土）正午～4時00分
II. 場 所：TKP 東京駅八重洲カンファレンスセンター カンファレンスルーム 8B
III. 出席者：（理事25名中15名出席）
（代表理事）中曾根弘文
（理事）内藤 貴詞・中村 康夫・寺本 祐治・安西 浩哉・真 喜代司
伊吹 洋二・宮野 正喜・千野 雅人・渡辺 健一・矢野 茂樹
石川 伸男・平尾 豊・宮田 知・奥田 竜子

IV. 審議事項

- (1) 2020 グランドマスターズ・ワールドカップについて
- (2) 新ロゴマークに関するアンケート結果（最終）報告及び今後の方針
- (3) 2019年チャレンジカップ
- (4) 2019ホッケー・シリーズ・ファイナル（女子）
- (5) SOMPO CUP 女子ホッケー4ヶ国いばらき国際大会に関する事業報告
- (6) 中村康夫専務理事の処遇
- (7) 普及委員会の委員の選出
- (8) 強化事業計画
- (9) 2019年度の各大会日程
- (10) 新規スポンサー・サプライヤー契約
- (11) PR会社の活用
- (12) 読売スポーツ大賞への推薦
- (13) 第18回アジア大会祝勝会（仮）の開催
- (14) その他総務委員会からの提案事項
- (15) 次回以降の理事会、および、拡大業務執行理事会の開催日程について

V. 報告事項

- (1) 東京2020オリンピック準備状況
- (2) 東京ホッケー協会の事務スペースについて
- (3) NTCの移転について

VI. 議事内容

1. 開会

- (1) 定刻、坂本事務局長が開会を宣言した後、中曽根会長がご挨拶された。
- (2) 坂本事務局長が 25 名中 15 名出席しているので、本理事会は定款 39 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。
- (3) 定款第 38 条に基づき、中曽根会長が議長に選出された。
- (4) 議長が議事録署名人に宮田知理事と石川伸男理事を、議事録作成人に梅本勝利事務局長次長を指名した。

2. 「審議事項」議事経過及びその結果

(1) 2020 グランドマスターズ・ワールドカップについて

マスターズ WC の東京開催については WGMA から通知を受領し、その経緯について説明がなされた。問題はピッチ確保で、大井ホッケー場の 3 面を確保するために原状復帰工事を 2 か月間延長してほしいという依頼を行ってきた。当初予算より追加負担が必要というのがオリパラ組織委員会の声であり、当初予算を見直す必要がある。時期的にはオリンピック組織委員会から所有管理が東京都に移るので、その承認が必要となるが、マスターズ部会としては、前向きに進めていきたいとの提案がなされたあと、進めていくということで、承認された。

(2) 新ロゴマークに関するアンケート結果（最終）報告、及び今後の方針について

アンケート結果についての説明がなされた後、最終決定方法について、再度、決戦投票を考えたほうがいいのでは、という意見も出たが、投票の結果、トップとなった B 案を尊重すべきとの多数の意見があり、同結果に基づき、承認された。
また、使用のガイダンスについては事務局で預かり検討していくことで一致した。

(3) 2019 年チャレンジカップについて

選手たちの交通費、宿泊費の問題を含めて次回の理事会までに予算組を行い、今年度は 1 日（昨年度は 2 日間の大会）で男女代表各 1 試合を実施したいとの提案がなされた。また、例年 2 月は FIH が競技規則を変えるタイミングであるため、2019 年度新ルールで実施することと、男子日本代表のアズランシャーカップ出場スケジュールが確認されたことも含め、承認された。

(4) 2019 ホッケー・シリーズ・ファイナル（女子）について

広島市での開催（広島広域公園第二球戯場）は 2018 年 11 月 26 日の広島県ホッケー

協会理事会で正式決定予定。日程は6月15日(土)～23日(日)、試合数20の予定。FIHからの資料に基づいて契約概要が説明されたあと、広島県ホッケー協会理事会の承認を待って進めることで、承認された。

(5) SOMPO CUP 女子ホッケー4ヶ国いばらき国際大会に関する事業報告

2018年8月時点では対予算▲1,150万であったが、茨木市の招致委員会との仮設スタンド、招致委員会側のスポンサーの看板製作コスト等々を交渉調整の結果、最終支出は▲840万まで圧縮できる見込みとなったとの報告がなされたあと、承認された。

(6) 中村康夫専務理事の処遇について

配布された資料に基づいて、2018年12月末までの雇用内容及び2019年1月～同年6月30日までの処遇について説明がなされたあと、承認された。

(7) 普及委員会の委員の選出

少子化にともなうホッケーの普及に対応するため、アンケートを実施し、その中で各都道府県にあった普及活動を行う予定であると説明がなされたあと、承認された。

(8) 強化事業計画

女子さくらジャパンについては、年明けに南アフリカに遠征という予定だったが、先方の受け入れが難しく、NZ(オランダ合流)、マレーシアの遠征を予定。3月の国内合宿にはインド来日の可能性あり(費用は先方の負担)。男子サムライジャパンについては、12月予定の選考会を2月に変更。2月の強化合宿は岐阜から愛媛に変更。3月はアズランシャーカップ招待を受け、マレーシアに遠征。

女子U21については、2月のマレーシア遠征が難しく、アジアの中で他の候補地を探しているとの説明がなされた。

また、さくらジャパンの選考会について、HCの考え方として、今の40名ぐらいの代表チームからオリンピックに向けて絞っていくという考え方であるとの説明がなされた。強化本部長としては年に一回は選考会をすべきという考えであるが、今年度実施しない。サムライジャパンの方は選考会を実施する予定であるとの説明がなされたあと、承認された。

(9) 2019年度の各大会日程について

2019年度国内競技日程(案)についての説明がなされた。また、8ヶ国大会の正式タイトルはホッケー・シリーズ・ファイナル。大井ホッケー場での8月のテストイベントは男女各4ヶ国で開催予定。予定では12月に同競技場の仮設工事が始まるので、

その時期はピッチの使用ができない可能性が高い。例年通りのスケジュールでは全日本選手権の大井開催は困難だが 11 月に実施できる可能性もある。しかしながら、TV 生中継は 12 月上旬が一番放送しやすいこともある。工事予定は、組織委員会の決定も遅く、今年中に決まるかわからない。大井ホッケー場の使用可否は結論がでるまで時間がかかる等の意見交換がなされた。全日本選手権については、TV 中継放送を優先して、場所を変えるほうが得策との提案がなされたあと、承認された。

(10) 新規スポンサー・サプライヤー契約について

味の素株式会社様とのオフィシャルサプライヤー契約について、権利内容等の説明がなされた。日本リーグ所属企業との事業競合関連事項についての確認も行き、契約締結したいとの提案がなされたあと、承認された。

(11) PR 会社の活用について (事務局)

今年度内にパートナーとなる PR 会社・コンサルティング会社を選定し、メディア露出に留まらない具体的なアクション策定と実行のため、JHA マーケティング活動費を使つての活動を開始したいとの提案がなされた。FIH との協力体制を作る必要性、JHA が持っているコンテンツの整理、PR 体制の構築などの課題に対応する必要性も大きい等の意見もあり、提案が承認された。

(12) 第 68 回日本スポーツ賞への推薦について

サムライジャパンのアジア大会初優勝を推薦したいとの提案がなされたあと、推薦文中で、さくらジャパンも同時に初優勝したことについても言及する方向で、承認された。

(13) 第 18 回アジア大会祝勝会 (仮) の開催について

祝賀会内容について、JOC マーケティング部に対してスポンサーロゴの露出可否、考え方などを確認。JOC の諸規則に沿って本祝勝会を二部構成とし、第一部を公式の祝賀会、第二部をスポンサー交流中心の会とする方向との提案がなされたあと、承認された。

(14) コンプライアンス規程及び倫理規程について

JOC の加盟団体への評価に「高潔さ」が加味されたことに伴い、倫理に関する諸規定の改正、整備を行うとの説明がなされ、「倫理規定の改正」「コンプライアンス規定の制定」「倫理委員会委員の選任」「調査部委員の選任」「処罰規定の廃止」についての各提案がなされたあと、承認された。

(15) 次回以降の理事会、および、拡大業務執行理事会の開催日程について

2018年12月1日(土)に予定していた理事会は中止。次回は1月19日(土)13:00開催。3月度は3月16日(土)13:00開催予定との報告がなされた。

3. 「報告事項」について

(1) 東京2020オリンピック準備状況

ボランティアについては、都市ボランティアは東京都、一般・競技ボランティアは組織委員会が担当。競技場内のボランティアは200名。照明の件は残置する方向。大会後に約1,000ルクス。電力の補強ができれば1,650ルクス。完成後の利用、2019年7月末には竣工予定。8月に行われる予定のテストイベントは、無観客試合で検討されており、今後議論が必要。大井ホッケー場はテストイベント終了後8月26日から10月末までは東京都が所有管理する。11月以降は組織委員会が東京都から借り受ける形式となる。11月から仮設の工事が始まるが、12月から2月までは重機をいれて工事をするのでピッチは使えない可能性が高い。

(2) 東京ホッケー協会の事務スペースについて

中村専務理事より説明がなされた。改めて検討の方向となった。

(3) NTCの移転について

NTCの移転について、実際に存在しない場所への移転はできないというのがJOCからの回答。今後、大井ホッケー場を優先的に使用出来るかどうかが課題。2019年度は厳しいので、2021年度は確保したい。

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、議長は午後4時00分、閉会を宣言した。